# 平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年1月29日

上場会社名　株式会社 エージーピー　　上場取引所　東
コード番号　9377　URL http://www.agpgroup.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 日岡 裕之
問合せ先責任者 (役職名) 経営企画・財務部長　(氏名) 鈴木 悦朗　TEL 03-3747-1631
四半期報告書提出予定日　平成31年2月13日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　有
四半期決算説明会開催の有無　:　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 31年3月期第3四半期 | 9,780 | 5.6 | 775 | △14.0 | 771 | △13.7 | 436 | △24.3 |
| 30年3月期第3四半期 | 9,264 | 8.5 | 901 | 39.9 | 893 | 33.7 | 576 | 38.7 |

(注)包括利益　31年3月期第3四半期　572百万円 (△8.4%)　30年3月期第3四半期　624百万円 (49.3%)

| | 1株当たり四半期純利益 | 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益 |
|---|---|---|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 31年3月期第3四半期 | 31.29 | — |
| 30年3月期第3四半期 | 41.33 | — |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|---|---|---|---|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 31年3月期第3四半期 | 12,976 | 8,701 | 67.1 |
| 30年3月期 | 13,625 | 8,338 | 62.2 |

(参考)自己資本　31年3月期第3四半期 8,701百万円　30年3月期 8,471百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 30年3月期 | — | 5.00 | — | 10.00 | 15.00 |
| 31年3月期 | — | 5.00 | — | | |
| 31年3月期(予想) | | | | 9.00 | 14.00 |

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年 3月期の連結業績予想(平成30年 4月 1日～平成31年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 円 銭 |
| 通期 | 14,300 | 8.4 | 1,400 | △0.3 | 1,380 | △0.7 | 850 | △7.1 | 60.94 |

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

新規 — 社 （社名） 、 除外 — 社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---|---|---|---|---|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 31年3月期3Q | 13,950,000 株 | 30年3月期 | 13,950,000 株 |
| ② 期末自己株式数 | 31年3月期3Q | 2,062 株 | 30年3月期 | 2,057 株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 31年3月期3Q | 13,947,941 株 | 30年3月期3Q | 13,948,018 株 |

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(1) 経営成績に関する説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
(2) 財政状態に関する説明 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 ・・・・・・・・・・・・・ 3

２．四半期連結財務諸表及び主な注記 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(1) 四半期連結貸借対照表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ・・・・・・・・・ 6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(継続企業の前提に関する注記) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) ・・・・・・・・・・・ 8
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動) ・・・・・・・・・・ 8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) ・・・・・・・・・・ 8
(会計方針の変更) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
(セグメント情報等) ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8

## １．当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、台風等の相次ぐ自然災害による影響を受けたものの、政府による経済政策等により企業収益や、雇用情勢の改善を背景に緩やかな回復基調が継続しました。

一方で、海外経済の不確実性や、通商問題の影響等、依然として不透明な状況が続いております。

航空業界では、訪日旅客は過去最高のペースで推移しており、2018 年の訪日外国人旅行者数は史上初めて3,000万人を突破し、国際線の路線開設・増便が進み、需要は堅調に推移しております。

このような状況下における当社業績は、自然災害による影響を受け動力事業が伸び悩んだものの、整備事業及び付帯事業セグメントにおいて堅調に推移し、売上高合計は97億80百万円と前年同期比５億15百万円（5.6%）の増収となりました。

営業費用につきましては、原油価格の高騰による電気料金の値上げや、外注費及び労務費等の増加により、90億５百万円と前年同期比６億42百万円（7.7%）の増加となりました。

以上により、営業利益は７億75百万円と前年同期比１億26百万円（14.0%）の減益、経常利益は７億71百万円と前年同期比１億22百万円（13.7%）の減益、親会社株主に帰属する四半期純利益は４億36百万円と前年同期比１億40百万円（24.3%）の減益となりました。

各セグメントの業績は次のとおりです。

① 動力事業

航空需要拡大に伴い電力供給機会は増加しているものの、一部航空会社において当社設備の利用率が伸び悩み、自然災害の影響を大きく受けたことにより、売上高は 41 億24百万円と前年同期比１百万円の減収となりました。

セグメント利益は、上記減収に加え、原油価格の高騰による電気料金の値上げや、老朽機材の整備維持費が増加したこと等により、８億 51 百万円と前年同期比 85 百万円（9.1%）の減益となりました。

なお、当期10月より中部国際空港において、空港会社と動力設備賃借契約を締結し、動力事業を開始しました。

② 整備事業

成田空港において施設設備の別途契約工事の増加や、関西空港において台風21号の復旧作業を含めた別途契約工事が増加したこと等により、売上高は40億80百万円と前年同期比４億21百万円（11.5%）の増収となりました。

セグメント利益は、上記増収等により、５億35百万円と前年同期比10百万円（2.1%）の増益となりました。

③ 付帯事業

ドクターベジタブルジャパン(株)の清算に伴い、工場野菜の販売は減少したものの、セキュリティ事業において、機器の更新工事の受注が増加したこと等により、売上高は15億75百万円と前年同期比96百万円（6.5%）の増収となりました。

セグメント利益は、工場野菜生産・販売事業の収支改善により、48百万円と前年同期比43百万円（942.5%）の増益となりました。

（単位：百万円）

| | 売上高 | | | セグメント利益 | | |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | 30年３月期<br>第３四半期 | 31年３月期<br>第３四半期 | 前年同期比<br>（%） | 30年３月期<br>第３四半期 | 31年３月期<br>第３四半期 | 前年同期比<br>（%） |
| 動力事業 | 4,126 | 4,124 | 100.0 | 937 | 851 | 90.9 |
| 整備事業 | 3,659 | 4,080 | 111.5 | 524 | 535 | 102.1 |
| 付帯事業 | 1,479 | 1,575 | 106.5 | 4 | 48 | － |
| 合　　計 | 9,264 | 9,780 | 105.6 | 1,466 | 1,435 | 97.9 |
| 全社費用* | | | | 564 | 660 | 116.8 |
| 営業利益 | | | | 901 | 775 | 86.0 |

＊全社費用は、主に報告セグメントに帰属していない一般管理費です。

(2) 財政状態に関する説明

（資産）

流動資産は、前連結会計年度（以下「前期」という）末比６億 40 百万円（9.2%）減少の 63 億３百万円となりました。これは、現金及び預金が７億 82 百万円、受取手形及び営業未収入金が３億 37 百万円減少し、商品及び製品、仕掛品、原材料及び貯蔵品が２億 93 百万円、前払費用が 34 百万円増加したこと等によります。

固定資産は、前期末比９百万円（0.1%）減少の 66 億 72 百万円となりました。これは、主に投資その他の資産が１億 36 百万円減少し、有形固定資産が１億 33 百万円増加したこと等によります。

この結果、総資産は前期末比６億 49 百万円（4.8%）減少の 129 億 76 百万円となりました。

（負債）

流動負債・固定負債は、前期末比 10 億 12 百万円（19.2%）減少の 42 億 74 百万円となりました。これは、未払法人税等が２億 92 百万円、未払消費税等が 28 百万円、未払金が２億 94 百万円、流動負債・固定負債を合算した借入金が３億 81 百万円減少し、営業未払金が 50 百万円増加したこと等によります。

（純資産）

純資産合計は、前期末比３億 62 百万円（4.4%）増加の 87 億１百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益、期末配当及び中間配当を加減算した結果、利益剰余金が２億 27 百万円、非支配株主持分が１億 33 百万円増加したこと等によります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第３四半期におきましては、売上、利益ともに計画を下回る結果となりましたが、今後、先送りの案件及び計画外の案件も取り込む見込みであることから、平成 30 年５月 10 日に発表しました通期業績予想を変更しておりません。

## ２．四半期連結財務諸表及び主な注記

### （１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成30年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成30年12月31日） |
|---|---|---|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 3,673,623 | 2,891,415 |
| 受取手形及び営業未収入金 | 2,231,775 | 1,894,203 |
| 商品及び製品 | 74,991 | 74,890 |
| 仕掛品 | 62,560 | 266,640 |
| 原材料及び貯蔵品 | 720,145 | 809,726 |
| 前払費用 | 168,369 | 203,254 |
| その他 | 12,474 | 163,236 |
| 貸倒引当金 | △228 | △89 |
| 流動資産合計 | 6,943,712 | 6,303,278 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 10,639,095 | 10,801,711 |
| 減価償却累計額 | △8,645,970 | △8,719,895 |
| 建物及び構築物（純額） | 1,993,124 | 2,081,815 |
| 機械装置及び運搬具 | 9,653,067 | 10,128,385 |
| 減価償却累計額 | △7,333,118 | △7,533,676 |
| 機械装置及び運搬具（純額） | 2,319,948 | 2,594,708 |
| 土地 | 110,608 | 110,608 |
| リース資産 | 160,122 | 141,870 |
| 減価償却累計額 | △121,268 | △122,451 |
| リース資産（純額） | 38,854 | 19,419 |
| 建設仮勘定 | 457,707 | 222,625 |
| その他 | 537,916 | 578,431 |
| 減価償却累計額 | △492,894 | △508,997 |
| その他（純額） | 45,022 | 69,434 |
| 有形固定資産合計 | 4,965,265 | 5,098,610 |
| 無形固定資産 | | |
| 特許権 | 7,150 | 6,356 |
| ソフトウエア | 77,119 | 60,500 |
| ソフトウエア仮勘定 | 1,980 | 14,050 |
| その他 | 11,259 | 11,001 |
| 無形固定資産合計 | 97,510 | 91,908 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 301,953 | 280,107 |
| 繰延税金資産 | 833,307 | 714,660 |
| 敷金及び保証金 | 201,429 | 196,053 |
| 長期前払費用 | 27,236 | 21,320 |
| 退職給付に係る資産 | 253,094 | 267,950 |
| その他 | 2,145 | 2,145 |
| 投資その他の資産合計 | 1,619,167 | 1,482,237 |
| 固定資産合計 | 6,681,943 | 6,672,756 |
| 資産合計 | 13,625,655 | 12,976,035 |

（単位：千円）

| | 前連結会計年度<br>（平成30年３月31日） | 当第３四半期連結会計期間<br>（平成30年12月31日） |
|---|---|---|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 営業未払金 | 752,913 | 803,777 |
| 短期借入金 | 86,362 | － |
| 1年内返済予定の長期借入金 | 359,051 | 266,364 |
| リース債務 | 26,506 | 16,718 |
| 未払法人税等 | 309,581 | 16,925 |
| 未払消費税等 | 67,358 | 38,866 |
| 未払金 | 450,433 | 155,663 |
| 未払費用 | 604,454 | 431,468 |
| その他 | 45,142 | 154,243 |
| 流動負債合計 | 2,701,803 | 1,884,027 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 461,934 | 259,072 |
| リース債務 | 15,581 | 4,435 |
| 製品保証引当金 | 10,140 | 9,801 |
| 退職給付に係る負債 | 2,025,642 | 2,040,559 |
| 資産除去債務 | 72,404 | 76,892 |
| その他 | － | 152 |
| 固定負債合計 | 2,585,702 | 2,390,913 |
| 負債合計 | 5,287,506 | 4,274,940 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 2,038,750 | 2,038,750 |
| 資本剰余金 | 114,700 | 114,700 |
| 利益剰余金 | 6,316,425 | 6,543,577 |
| 自己株式 | △768 | △773 |
| 株主資本合計 | 8,469,106 | 8,696,254 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 67,942 | 56,829 |
| 為替換算調整勘定 | － | △600 |
| 退職給付に係る調整累計額 | △65,096 | △51,390 |
| その他の包括利益累計額合計 | 2,846 | 4,839 |
| 非支配株主持分 | △133,803 | － |
| 純資産合計 | 8,338,149 | 8,701,094 |
| 負債純資産合計 | 13,625,655 | 12,976,035 |

## （２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自 平成29年４月１日<br>至 平成29年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自 平成30年４月１日<br>至 平成30年12月31日） |
|---|---|---|
| 売上高 | 9,264,790 | 9,780,786 |
| 売上原価 | 7,610,983 | 8,260,352 |
| 売上総利益 | 1,653,807 | 1,520,434 |
| 販売費及び一般管理費 | 752,033 | 744,863 |
| 営業利益 | 901,774 | 775,570 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 0 | 16 |
| 受取配当金 | 6,343 | 5,335 |
| 保険配当金 | 846 | 882 |
| 保険事務手数料 | 718 | 741 |
| 受取補償金 | 11,953 | 1,508 |
| その他 | 1,711 | 3,273 |
| 営業外収益合計 | 21,573 | 11,758 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 9,638 | 5,624 |
| 補償関連費用 | 13,226 | － |
| 持分法による投資損失 | 3,585 | 5,828 |
| その他 | 3,539 | 4,775 |
| 営業外費用合計 | 29,989 | 16,228 |
| 経常利益 | 893,358 | 771,100 |
| 特別利益 | | |
| 債務免除益 | － | 135,598 |
| 特別利益合計 | － | 135,598 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 15,251 | 22,819 |
| 減損損失 | 3,789 | － |
| 災害による損失 | － | 11,602 |
| その他 | － | 1,969 |
| 特別損失合計 | 19,041 | 36,392 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 874,316 | 870,306 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 265,678 | 182,628 |
| 法人税等調整額 | 32,106 | 117,502 |
| 法人税等合計 | 297,785 | 300,130 |
| 四半期純利益 | 576,530 | 570,175 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | － | 133,803 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 576,530 | 436,371 |

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

| | 前第３四半期連結累計期間<br>（自 平成29年４月１日<br>至 平成29年12月31日） | 当第３四半期連結累計期間<br>（自 平成30年４月１日<br>至 平成30年12月31日） |
|---|---|---|
| 四半期純利益 | 576,530 | 570,175 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 33,496 | △11,113 |
| 為替換算調整勘定 | － | △600 |
| 退職給付に係る調整額 | 14,648 | 13,706 |
| その他の包括利益合計 | 48,145 | 1,993 |
| 四半期包括利益 | 624,676 | 572,168 |
| （内訳） | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 624,676 | 438,365 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | － | 133,803 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当しておりませんが、第１四半期連結会計期間において、Airport Ground Power (Thailand) Co.,Ltdを新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　平成29年４月１日　至　平成29年12月31日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 動力事業 | 整備事業 | 付帯事業 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 売上高 | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 4,126,297 | 3,659,100 | 1,479,392 | 9,264,790 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 19,215 | 7,129 | 121,605 | 147,949 |
| 計 | 4,145,512 | 3,666,229 | 1,600,997 | 9,412,740 |
| セグメント利益 | 937,518 | 524,582 | 4,634 | 1,466,736 |

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利　益 | 金　額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 1,466,736 |
| 全社費用（注） | △564,961 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 901,774 |

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

当社グループは、以下の資産グループについて減損損失を計上しました。

（単位：千円）

| 減損損失 | 報告セグメント | | | 合　計 |
|---|---|---|---|---|
| | 動力事業 | 整備事業 | 付帯事業 | |
| | ― | ― | 3,789 | 3,789 |

当社グループは、事業用資産については事業セグメントを基礎としてグルーピングを行っております。

当第３四半期連結累計期間において、付帯事業で使用していた販売システムを既存システムに統合することに伴い、該当資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減損損失3,789 千円を特別損失に表示しております。減損損失の内訳は、リース工具器具備品 3,789 千円であります。

なお、処分予定資産の回収可能価額は、使用価値により測定しております。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間（自　平成30年４月１日　至　平成30年12月31日）

1．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

| | 動力事業 | 整備事業 | 付帯事業 | 合計 |
|---|---|---|---|---|
| 売上高 | | | | |
| (1) 外部顧客への売上高 | 4,124,318 | 4,080,852 | 1,575,614 | 9,780,786 |
| (2) セグメント間の内部売上高又は振替高 | 21,604 | 370 | 134,173 | 156,148 |
| 計 | 4,145,923 | 4,081,223 | 1,709,788 | 9,936,935 |
| セグメント利益 | 851,868 | 535,387 | 48,318 | 1,435,574 |

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

| 利　益 | 金　額 |
|---|---|
| 報告セグメント計 | 1,435,574 |
| 全社費用（注） | △660,004 |
| 四半期連結損益計算書の営業利益 | 775,570 |

（注）全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。